

無名峰 805m (麻生川・北川・針畑川水源のピーク)

ポンポン山雑感

2017年5月2日

三鍋敏郎

朽木能家集落から県道 783 号線を北西に進むと 25000 地形図に標高点 394m の表示がある。本日は百里新道の間地点にあるピーク 805m から南東に延びる長い尾根の鼻に取り付き、時計回りに P 805m に登り、805m から延びる東の稜線の P 754m を歩き、隣の標高 770m ピークを経由し、南の尾根にある標高点 620m を経て熊ノ谷に下るルート。

標高点 394m 近くの空き地に車を止め、本流の北川と支流の熊ノ谷の合流点に延びている北西方向の尾根に取り付く。

植林帯の急坂を登る。勿論登山道はない。標高差 100m ほど登ると穏やかな自然林の尾根に変わる。タカノツメの新芽が膨らんでいる。林床にはイワカガミのピンクの花が盛りで、新緑の自然林は明るく快適である。痩せ尾根になると西側斜面でシャクナゲの濃ピンク色の花が満開。途中で出会ったイワウチワも遅咲きの花が数株残っていた。

百里新道に合流するとすぐに P 805m に到着する。ここで初めて百里から下山して来たと思われる単独登山者の男性と出会う。ブナ林の広場は去りがたい魅力があるが、805m 峰から東に延びる尾根にコンパスを合わせて歩き始める。この稜線には、暗紅紫色の花を無数にぶら下げたハウチワカエデや白い花を咲かせたムシカリの木が多い。ふかふかの落ち葉の尾根は気持ちが良い、何の障害もない楽しい散歩道である。

尾根歩きが快適すぎてピークの確認を怠っていた。下降点に予定していた 770m の手前の P 754m だと錯覚して 770m 峰で休憩。地形図を取り出し南に延びる尾根の方向も確認した。(この時点では 770m はこの先にあると思い込む) 山頂からは琵琶湖方面に展望が開けている。右手には白倉岳あたりの山々が見える。

展望を楽しんで次の尾根に向かって歩き出すが下降予定の尾根が見当たらない。(先ほどのピークで身を乗り出して下降予定の尾根を探したのだが、それらしき尾根が見当たらなかったのが疑問を感じていた)。

しばらく稜線を歩いて、後ろを振り返ると左肩下がりの顕著な尾根が見えた。先ほど休憩したピークが本来の 770m 峰だと気が付き引き返す。754m 峰と 770m 峰のそれぞれ南方向に尾根の張り出しがあるが、よく見ると 754m 峰の南尾根の始まり部分の方向が 770m 峰とほぼ同じなので全く勘違いしていたのだった。

標高点 620m の尾根はしばらくブナ林が続き快適に下れる。イワカガミの花も多く楽しい尾根である。途中一部分にユズリハの密生地があるが、簡単に抜けられる藪である。意外と短時間で熊ノ谷に出た。突然カワセミが美しいコバルトブルーの翼を広げて左右に飛び去る。鳥の思惑を感じて探すと、川岸の土壁にカワセミの小さな巣穴を見つけた。

★メンバ 西川・三鍋・他 1 名 ★コース 394m 8:53 ~ 805m 10:50 発 11:10 ~ 770m 11:50 (昼食+ロスタイム 1 時間) ・ 発 12:50 ~ 394m 車停車場 14:05